

# 災害時の医療体制について

健康危機対策課

# 災害医療対策の概要

- 船橋市では医療関係者や市民代表で構成される「船橋市地域災害医療対策会議」で、発災後48時間以内の医療対策について検討し、令和2年4月から以下のとおりとしている。
  - ①市内で震度6弱以上を観測した場合には、市内の災害医療協力病院前（市内の二次救急病院前）に病院前救護所（市内9ヶ所）を設置する。
  - ②病院前救護所では、参集した医療関係者が、トリアージ（重症度の判別）と軽症者の治療を行う。
  - ③災害医療協力院内では、中等症・重症者の専門的治療を行う。
  - ④市が保健福祉センターに設置する災害医療対策本部では、災害時の医療提供の調整を行う。

# 昨年度の当協議会での報告 ～令和5年度資料より～

いつ発生するかわからない災害に備えるために、災害医療関係者が各々の役割や取るべき行動を理解し、具体的な行動をすることができる体制を整える。

以上の目的を達成するため

- 課題を整理し、令和6年度から2巡目の病院前救護所設置・運営訓練を実施する
- 「船橋市の災害医療対策（ハンドブック）」等を充実させるとともに、より被災想定に負荷をかけた実践的な訓練を実施していく。

# 今年度の実施内容①

## I 訓練の実施

### ①病院前救護所設置・運営訓練の実施（9月～11月）

（千葉徳洲会病院、船橋中央病院、船橋二和病院、板倉病院にて P11-43参照）

※板倉病院で行った病院前救護所訓練については、  
②の災害医療対策本部運営訓練と同時実施。

### ②災害医療対策本部運営訓練の実施（11月）

（P44-54参照）

※「船橋市の災害医療対策（ハンドブック）」（11月策定）に  
基づき実施

# 今年度の実施内容②

## Ⅱ 会議等の開催

- ①災害医療協力病院及び保健所意見交換会（6月）  
（P55-56参照）
- ②地域災害医療対策会議医療部会の開催（7月、12月）  
（P57参照）
- ③船橋市地域災害医療対策会議の開催（3月開催予定）  
（P58参照）

# 今年度の実施内容③

## Ⅲ マニュアルの作成等

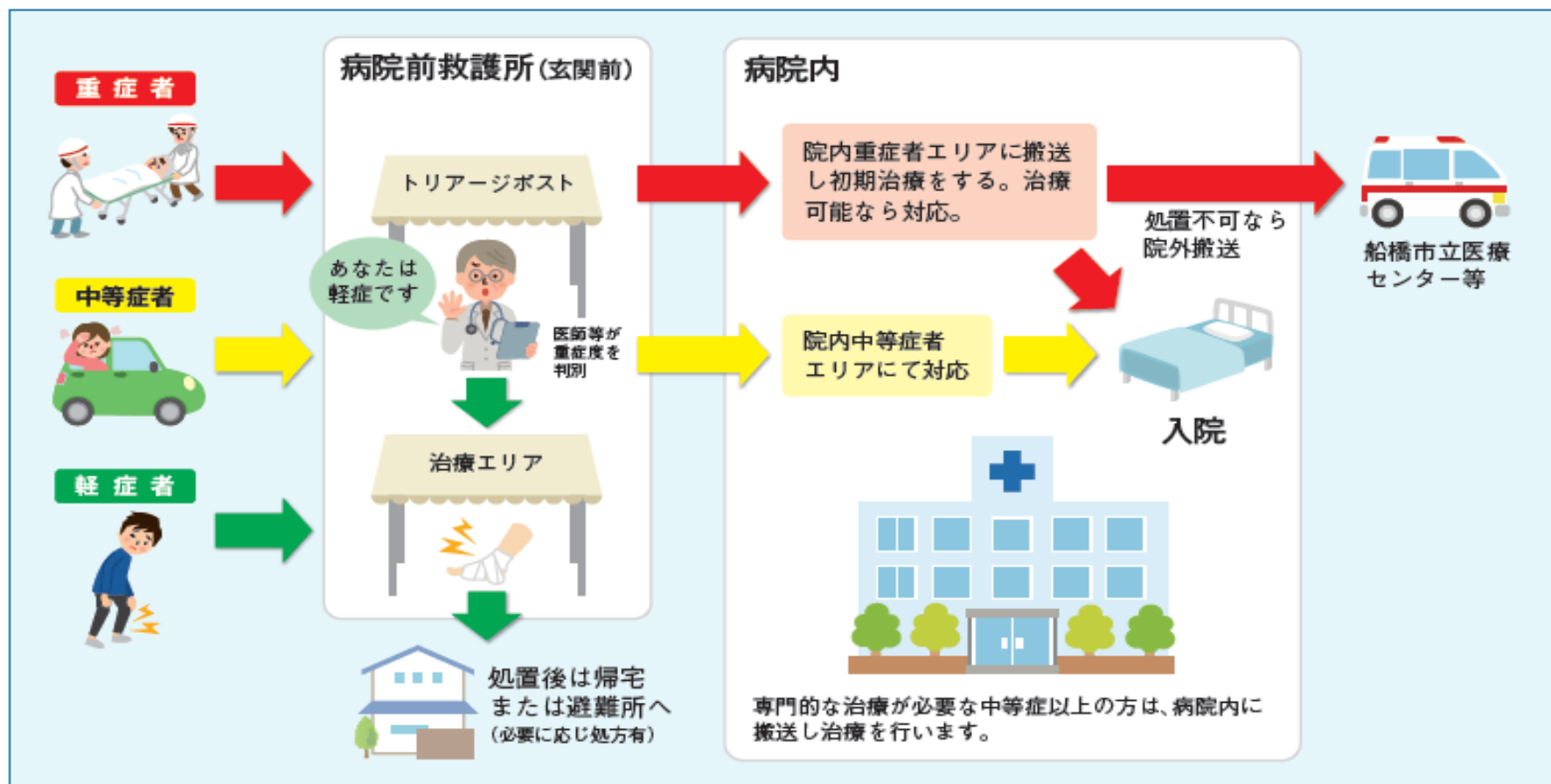
### 「船橋市の災害医療対策（ハンドブック）」の策定

船橋市地域災害医療対策会議医療部会にて、ご議論いただいた市災害医療対策本部内での情報共有の流れなどを参考し、「船橋市の災害医療対策（ハンドブック）」の初版を策定した。（11月策定）

また、保健所・健康部内で周知し、訓練時に活用した。

# 病院前救護所での流れ

服薬している方は、**お薬手帳をお持ちください**。病院前救護所で処方するお薬を迅速に確認し、対応できます。  
(手帳が見当たらない場合は、お薬の名称を言っていたりいただくことでも対応できます。)



# トリアージの方法

## START式 トリアージ



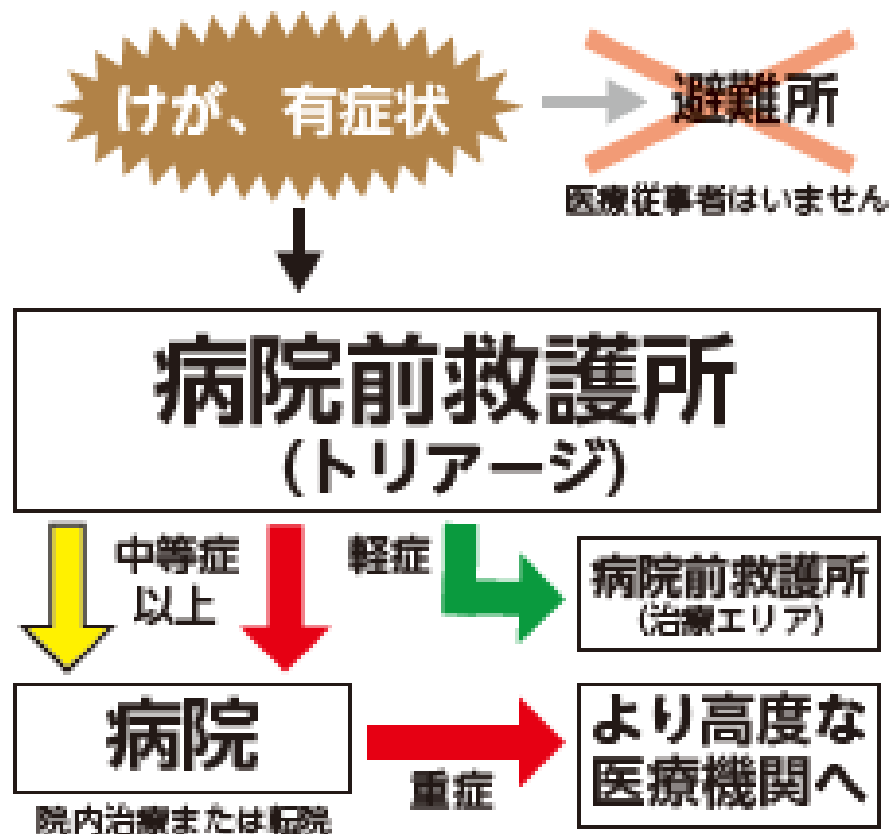


# I 訓練の実施

## トリアージ区分

トリアージとは、傷病者の重症度を判別し、治療の優先順位を決めることで、市では下表のとおりに定めています。

重症度／医療活動の内容
<b>重症</b> 入院による治療 (生命の危険が切迫)
<b>中等症</b> 入院による治療(上記以外)
<b>軽症</b> 創傷、打撲、やけど、骨折等 <sup>(※)</sup> に対する応急処置。内因性 疾患に対する応急医療
<b>極めて軽度の負傷</b> 自身での消毒や包帯等 による応急手当



(※) 平時であれば骨折等は病院での治療になりますが、災害時には骨折していても歩いて、生命の危険がない場合には軽症として対応することになります

# I 訓練の実施

## 船橋市 病院前救護所 MAP

**千葉徳洲会病院** 高橋台2丁目11番1号

船橋特別支援学校  
高橋台教会  
高橋台グリーン  
キディ保育園  
高橋木戸  
第3号公園  
高橋台  
公民館  
高橋台  
第三小

**船橋総合病院** 北本町1丁目13番1号

イオンモール  
船橋  
夏見台  
中央公園  
保徳福祉  
センター  
船橋中  
天沼弁天池公園

**船橋中央病院** 海神6丁目13番10号

二葉幼稚園  
山野浅間神社  
海神  
公民館  
海神幼稚園

**船橋二和病院** 二和東5丁目1番1号

二和中央  
船橋二和  
郵便局  
二和  
公民館  
三萩小

**板倉病院** 本町2丁目10番1号

海神第二  
保育園  
船橋市民文化  
ホール  
中山学園高

**セコマディック病院** 豊町696番地1

千葉県立  
船橋康長の森  
船橋豊富高  
ふなばし  
アンデルセン公園  
豊富中  
北部公民館  
豊富小  
中山  
カントリー  
クラブ

**東船橋病院** 高橋台4丁目29番1号

高橋台中  
高橋木戸  
近隣公園  
高橋台  
第二小  
イオン  
船橋東  
警察署  
船橋家郵便局  
北習志野  
近隣公園

**北習志野花輪病院** 習志野台2丁目71番10号

高橋台中  
高橋木戸  
近隣公園  
高橋台  
第二小  
イオン  
船橋東  
警察署  
船橋家郵便局  
北習志野  
近隣公園

**青山病院** 市場4丁目21番8号

総合教育センター  
プラネタリウム館  
船橋市場  
船橋警察署  
市立船橋高  
船橋市場郵便局

**お近くの病院前救護所  
をご確認ください。**  
※船橋市立医療センターは病院前救護所設置病院  
での治療が困難な場合に対応します。



# ①病院前救護所設置・運営訓練の実施

## (1) 千葉徳洲会病院前救護所訓練

日時 令和6年9月14日(土)  
午後1時15分～4時45分

参加者 千葉徳洲会病院スタッフ:104人  
医師会、薬剤師会、  
千葉県柔道整復師会:計13人  
市内災害医療協力病院:12人  
船橋市職員:25人

# 訓練での目標

- 院内本部・救護所の設置及び運営を同時並行で適切に行う
- 模擬患者を2例ずつ順番にトリアージし、傷病者を振り分け、トリアージタグに必要事項を漏れなく記載する
- 2次トリアージエリアを設けて、緑タグ患者の急変に適切に対応する
- 黄、赤エリアを設定し、各エリアに搬送する

# 千葉徳洲会病院①

## トリアージの実施

### 1次トリアージ



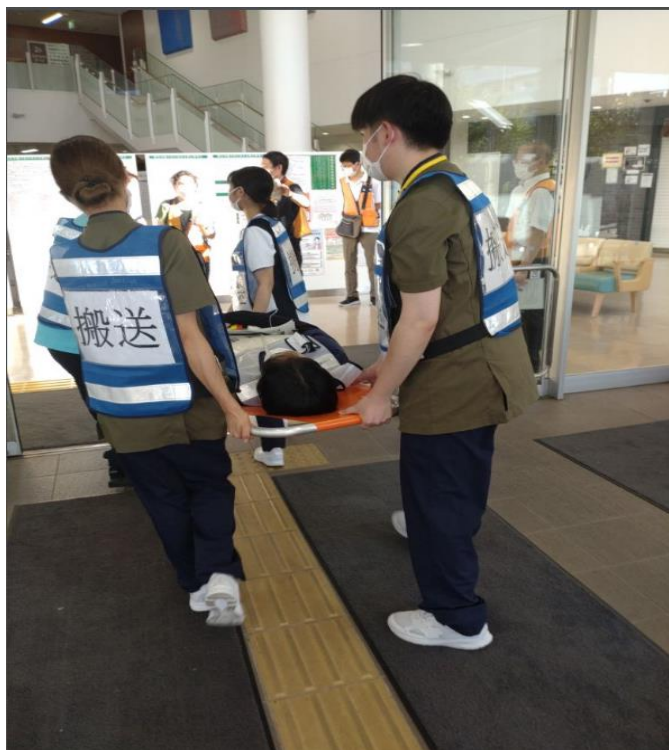
### 2次トリアージ





# 千葉徳洲会病院②

搬送の様子



指揮所の様子



# 千葉徳洲会病院③

## 各治療エリアの運営

緑エリア



黄エリア



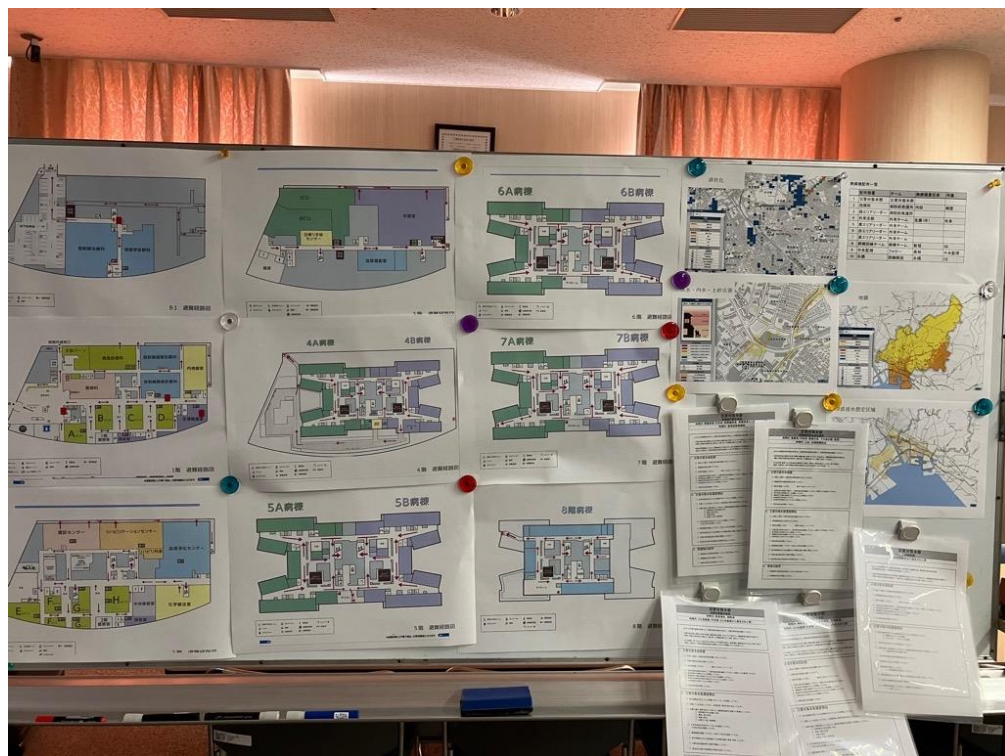
赤エリア





# 千葉徳洲会病院④

## 院内災害対策本部の様子



実施中	概要	詳細	
千葉徳洲会病院【第...】 09/14(土) 13:30	全体		
千葉徳洲会病院【第...】 03/01(金) 17:30	病院名	合計 済 未	
千葉徳洲会病院【第...】 06/23(金) 17:30	千葉	872 270 602	
千葉徳洲会病院【第...】 01/27(金) 17:44	ほのほのST	12 5 7	
千葉徳洲会病院【第...】 01/27(金) 17:30	高根台介護	7 3 4	
詳細バージョン 11/03(木) 19:05	部署別		
詳細バージョン 09/30(金) 15:03	病院名	部署名 合計 済 未	
一時保存中	千葉	なし対応	1 0 1
気象庁連携	千葉	医局	63 22 41
防災コア【安否確認】 01/30(月) 16:35	ほのほのST	訪問看護	12 5 7
千葉徳洲会病院【安否...】 01/30(月) 16:34	高根台介護	高根台在宅介護支援センター	7 3 4
テンプレート	千葉	看護部長室	3 2 1
届届バージョン	千葉	感染対策室	2 2 0
	千葉	WOC認定看護師室	1 0 1
	千葉	医療安全管理室	2 2 0



# 千葉徳洲会病院⑤

## 講評

(大数加理事、筒井保健所長、松戸市長、鶴田院長補佐)



# 訓練の振り返り（千葉徳洲会病院）

## 【主な内容】

- まずは、参加して体験できたことで流れを理解できたことが良かった。（四師会）
- トリアージを実際に体験できて良かった。（四師会）
- 院内本部等の拠点が多いため、トランシーバーの混線等、情報共有の仕方に課題を感じた。（市職員）
- 夜間時に起きた災害を想定して、十分に人員がいない場合の訓練も必要と感じた。（協力病院）

## (2) 船橋中央病院前救護所訓練

日時 令和6年10月19日(土)  
午後1時30分～4時30分

参加者 船橋中央病院スタッフ:98人  
医師会、歯科医師会、薬剤師会、  
千葉県柔道整復師会:計19人  
市内災害医療協力病院:3人  
協力薬局:1人、船橋市職員:36人

# 訓練での目標

- トリアージタグを漏れなく正確に記載し、トリアージを行う。
- 災害用処方箋が発行された患者について、協力薬局までの動線を確認しながら、薬を受け取るまでの訓練を行う。
- 前半に緑エリアの訓練を、後半に黄・赤・黒エリアの訓練を行い、2部構成に分けることで、各エリアの動きをより細かく検証する。
- 参集医師の補助として病院外部からくる看護師とも連携しながら、トリアージや治療を行う。

# 船橋中央病院①

## トリアージの実施





# 船橋中央病院②

## 搬送の様子



## 指揮所の様子



# 船橋中央病院③

## 各治療エリアの運営

### 緑エリア



### 黄エリア





# 船橋中央病院④

## 各治療エリアの運営

### 赤エリア





# 船橋中央病院⑤

## 講評

(鶴田理事、梶原副会長、筒井保健所長、松戸市長、山口院長)



# 訓練の振り返り(船橋中央病院)

## 【主な内容】

- 訓練を2部制に分け、各エリアとも丁寧な解説がなされていたため、訓練全体が非常に分かりやすかった。(四師会、市職員)
- 緑エリアで災害用処方箋が発行された患者が協力薬局に行く際の動線とトリアージエリアに向かうまでの患者の動線が交叉しているため、人の流れ方に疑問を感じた。(四師会)
- 歩行が出来てる時点でトリアージ緑と判定したならば、医師ではなく看護師でも良いのではと思いました。医師は災害時可能な限り、処置などにまわってほしいと思いました。(四師会)

## (3) 船橋二和病院前救護所訓練

日時 令和6年11月2日(土)  
午後1時30分～4時30分

参加者 船橋二和病院スタッフ:68人  
医師会、薬剤師会、  
千葉県柔道整復師会:計10人  
市内災害医療協力病院:4人  
協力薬局:2人、船橋市職員:36人  
災害時看護職ボランティア:3人  
地域住民:9人

# 訓練での目標

- 院内本部・救護所の設置及び運営を同時並行で適切に行う。
- 災害用処方箋が発行された患者について、協力薬局までの動線を確認しながら、薬を受け取るまでの訓練を行う。
- 黄・赤エリアの訓練において、被害想定を勘案し、電子カルテでなく、紙カルテ等を用いて患者情報を得ながら、訓練を実施する。
- 災害時看護職ボランティアとも連携しながら、トリアージや治療を行う。

# 船橋二和病院①

## トリアージの実施





# 船橋二和病院②

搬送の様子



指揮所の様子



# 船橋二和病院③

## 各治療エリアの運営

### 緑エリア



### 黄エリア



# 船橋二和病院④

## 各治療エリアの運営

### 赤エリア



### 黒エリア





# 船橋二和病院⑤

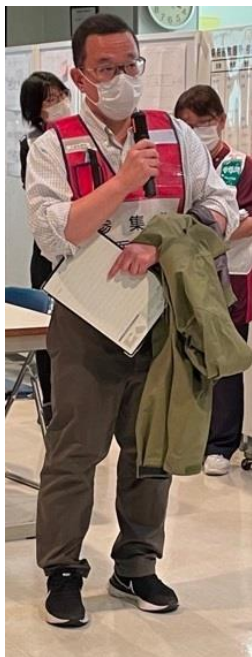
## 院内災害対策本部の様子



# 船橋二和病院⑥

## 講評

(鶴田理事、梶原副会長、筒井保健所長、松戸市長、宮原院長)



# 訓練の振り返り（船橋二和病院）

## 【主な内容】

- 本部訓練の質が非常に高く、対策本部のクロノロジー、情報共有のホワイトボードがとても良かった。本番のエリアでの訓練を1度検討していただきたい。（四師会）
- トリアージを担当したが、アンダートリアージがよいのか、オーバートリアージが良いのか、考えさせられた。（四師会）
- マニュアルを読むだけではイメージがつかなかったなので、実際の訓練に参加する事で自分の役割（トリアージ）を認識できたことが良かった。（災害時看護職ボランティア）
- 様々な区分の患者が一気に来て所見ごとに優先順位を判断してさばく（実際に混乱しているような状態）で行うと、より実践に近づくと感じた。（市職員）

## (4) 板倉病院前救護所訓練

日時 令和6年11月24日(日)  
午前9時00分～12時00分

参加者 板倉病院スタッフ:124人  
医師会、薬剤師会、  
千葉県柔道整復師会:計12人  
市内災害医療協力病院:4人  
協力薬局:1人、船橋市職員:14人  
地域住民:16人

# 訓練での目標

- トリアージエリアでのトリアージ後、各治療エリアにおいて医師が処置を行う際、オーバートリアージやアンダートリアージがないかを確認する。
- 緑エリアを市協定先の施設(クロス・ウェーブ船橋)に設置し、傷病者の受け入れや診察及び処置等を行う。
- 災害用処方箋が発行された患者について、協力薬局までの動線を確認しながら、薬を受け取るまでの訓練を行う。
- MCA無線により、市災害医療対策本部へライフラインの支援要請及び重傷者の搬送要請を行う。



# 板倉病院①

## トリアージの実施



# 板倉病院②

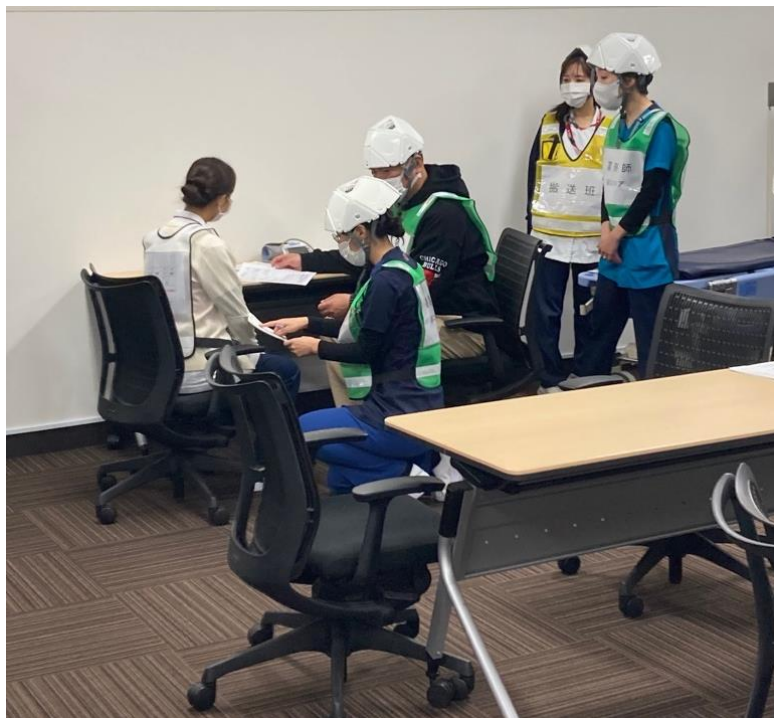
## 指揮所の様子



# 板倉病院③

## 各治療エリアの運営

### 緑エリア



### 黄エリア





# 板倉病院④

## 院内災害対策本部の様子



# 板倉病院⑤

## 講評

(小栗理事、梶原院長)



# 訓練の振り返り(板倉病院)

## 【主な内容】

- 記入しやすいカルテが必要だと思います。また事前にラミネートされたマニュアル、処方箋等の配付(PDF)があると良かったと思います。(四師会)
- 被災者がどのような流れで誘導されるのか、多職種との連携が良かった。緑エリアでの処方箋について、調剤薬局との連携もあれば良いと思った(薬局に行く前に簡単な聴取など)。(四師会)
- クロスウェーブ、協力薬局等とも協力した地域での体制づくりが行われていることが分かって良かったが、周囲の交通や通路状況もあるので、町会等での見守り協力等も必要かと感じた。(町会)

## ②災害医療対策本部運営訓練の実施

**日時** 令和6年11月24日(日)  
午前9時～12時

**場所** 災害医療対策本部(市保健福祉センター)  
病院前救護所(板倉病院)

**参加者** 医師会、歯科医師会、薬剤師会  
千葉県柔道整復師会：計11人  
船橋市職員：36人(保健所、健康部、消防局)

## 訓練の目的

- \* 本市に大きな被害を及ぼす恐れのある千葉県北西部直下地震の発生を想定し、災害医療対策本部（保健福祉センター）と板倉病院前救護所を同時に立ち上げ、発災時に実際に使用するツールを用いた情報伝達を行うなど、発災時の活動の実践や検証を行う。



# 訓練の概要

## ①災害医療対策本部会議の運営(発災から6時間30分後を想定)

- ・被害状況やクロノを用いた対応経過から会議での報告事項を整理

## ②付与課題に対する災害医療対策本部の班活動

- ・四師会及び各班で連携しながら、付与された課題に対する対応策を実践

## ③災害医療協力病院(板倉病院)等との情報伝達訓練

### ・ライフラインの支援要請(発災から7時間後を想定)

- －板倉病院からの情報を受け、災害対策本部へ支援要請

### ・重傷者の転院要請(発災から7時間後を想定)

- －板倉病院からの患者情報を受け、医療センターへ受入要請

- －医療センターからの受入可能指示を受け、消防局へ搬送要請

- ・以上の内容について、MCA無線や、ハンドブックに記載している様式等を使用しながら、大部分をブラインド型で実施した。

# ① 災害医療対策本部会議の運営

- 災害医療対策本部員や四師会代表者が一同に集まり、会議を実際に行う

## 災害医療対策本部会議の様子



## ②課題に対する災害医療対策本部の班活動

本部内の活動経過を記録



病院状況を確認し、支援チームを選定



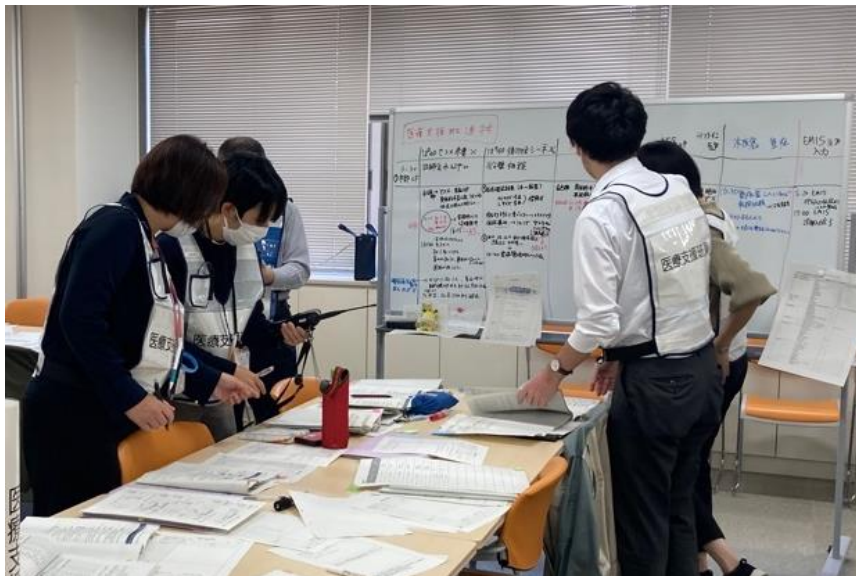


## ②課題に対する災害医療対策本部の班活動

傷病者情報を本部長と共有



傷病者の搬送先調整





## ③ 災害医療協力病院等との情報伝達訓練

- 板倉病院から業務用水の補充要請を受け、市災害対策本部へ支援要請を実施
- トリアージ赤の重傷者2名について、医療センターへ受入要請を行うとともに、市消防局とも連携し共有した。

衛星携帯電話により、ライフラインの支援要請



板倉病院からMCA無線により、重症患者の情報を収集



# ④ 訓練時に作成したクロノロジー(企画調整班)

クロノロジー		時間	発	受	内容
15:30	企画調整班 医療支援班 保健福祉管理 消防団 報道班 資材管理 四科長 本部長				第1回災害医療対策本部会議の開催 被害状況報告 経過報告 セマテックの連絡網。(搭乗者集約す) <u>千葉県銚子市 帯折 多くシ不足</u> 被災状況確認中 米量調整開始予定 搬送車両の確保(3台) 搬送班の確保(搬送班の確保) 会員の搬送の被害状況 作業状況報告 情報連絡のフェーズを經由すること 第四本 外回 作業員不足 欠員を補うため、外回 時間午後を自衛に第二回会議を開催も予定 (17:00)
15:50	消防団 石毛				搬送班の確保(搬送班の確保) 搬送班の確保(搬送班の確保) 搬送班の確保(搬送班の確保)
16:00	企画調整班 石毛				搬送班の確保(搬送班の確保) 搬送班の確保(搬送班の確保)
16:05	保健福祉管理 中野				搬送班の確保(搬送班の確保) 搬送班の確保(搬送班の確保)
16:05	搬送班 中野				搬送班の確保(搬送班の確保) 搬送班の確保(搬送班の確保)
16:10	保健福祉管理 中野				搬送班の確保(搬送班の確保) 搬送班の確保(搬送班の確保)
16:11	医療支援班 中野				搬送班の確保(搬送班の確保) 搬送班の確保(搬送班の確保)
16:15	医療支援班 中野				搬送班の確保(搬送班の確保) 搬送班の確保(搬送班の確保)
16:18	搬送班 中野				物資搬送報告(シーメンスのHP、LTA等) 物資搬送報告(シーメンスのHP、LTA等) 物資搬送報告(シーメンスのHP、LTA等)
16:33	搬送班 中野				物資搬送報告(シーメンスのHP、LTA等) 物資搬送報告(シーメンスのHP、LTA等)
16:40	搬送班 中野				物資搬送報告(シーメンスのHP、LTA等) 物資搬送報告(シーメンスのHP、LTA等)
16:47	搬送班 中野				物資搬送報告(シーメンスのHP、LTA等) 物資搬送報告(シーメンスのHP、LTA等)

いつ、誰から、誰が、どんなことを伝達したのか

↓ ↓ ↓ ↓

時間	発	受	内容
15:30	企画調整班 医療支援班 保健福祉管理 消防団 報道班		第1回災害医療対策本部会議の開催 被害状況報告 経過報告 セマテックの連絡網。(搭乗者集約す) 被災状況確認中 米量調整開始予定 搬送車両の確保(3台)

拡大

# I 訓練の実施

## ④ 訓練時に作成したクロノロジー（保健活動支援班）

時刻	内容	各保健センター参集状況				被害状況
		センター	医師	保健師	栄養士	歯科
16:00	被害状況確認	中セ	1	6③		建物 人員喪失、保健福祉センター同様。
16:05	企画調整班 次長へ報告	東セ	1	4②		
		北セ	1	2①		
		西セ	1	6③		

レイアウトは異なるが、いつ、誰から、どんなことを指示受けしたのかが時系列に従って記載されている。

→次長より指示⑤ チーム：2人ご/組

- 16:15 チーム編成状況確認
- 16:20 企画調整班2人
- チーム編成状況確認の報告本部に伝達を依頼
- 16:25
- 次長より各保健センターのチームは次の指示が出るまで待機と指示⑤
- 16:30
- 企画調整班2人⑤ 大穴北小への対応依頼
- 16:35
- 北部保健センターへ指示（1チーム派遣）
- 16:55 北セより大穴北小の報告⑤



# 講評

(鳥海会長、筒井所長)





# 訓練の振り返り

## 【主な内容】

- 参集医師の把握の難しさや、連絡手段が限られる中でどう対応していくかが課題であると感じた。(四師会)
- 順次、発災経過(日)の訓練を行いたい。各師会との連携事項も何か訓練の中に入れていただきたい。(四師会)
- 本部会議で報告だけでなく、対応方針に係る意思決定のプロセスを組み込んだ訓練を行いたい。(市職員)
- 実災害時と同様に、同時並行でマルチタスクに対応しなければならない状況下で訓練できたことは有意義で良かった。(市職員)

## Ⅱ 会議等の開催

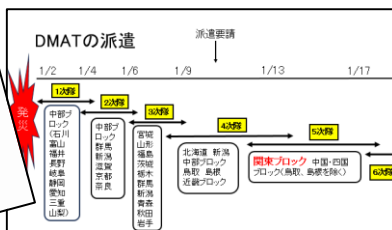
### ① 災害医療協力病院及び保健所意見交換会

- \* 目的 災害医療協力病院間及び保健所とのネットワークづくり、連携の強化
- \* 日時 令和6年6月25日（火）午後6時～
- \* 場所 船橋市保健福祉センター（オンライン開催）
- \* 参加者
  - 災害医療協力病院 災害医療担当者
  - 災害医療コーディネーター（船橋市医師会）
  - 船橋市立医療センター統括DMAT医師
  - 保健所

# 意見交換会の内容

## 1 令和6年能登半島地震のDMAT活動報告及び活動を踏まえた船橋市での備え

船橋市立医療センター統括DMAT医師からの講話により「能登半島地震における災害医療の対応事例」を共有した。



(講演資料抜粋)

- 2 災害医療協力病院及び保健所の意見交換
- 3 令和6年度の訓練計画について
- 4 災害医療対策担当者のネットワーク化

# ②地域災害医療対策会議医療部会の開催

- \* 日時 令和6年 7月25日（木）午後7時～8時  
令和6年12月19日（木）午後7時～8時（予定）
- \* 場所 船橋市保健福祉センター（オンライン開催）
- \* 参加者
  - 医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会
  - 保健所
- \* 主な内容
  - 災害医療対策本部に関すること
  - 病院前救護所に関すること

ほか



### ③船橋市地域災害医療対策会議の開催

- \* 日時 令和7年3月27日（木）午後1時30分～3時（予定）
- \* 場所 船橋市保健福祉センター  
4階 診療部門
- \* 参加者
  - 医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会、自治会連合協議会、社会福祉協議会、民生児童委員協議会、助産師会、警察、陸上自衛隊、消防団、医療センター
  - 保健所
- \* 内容
  - 令和6年度の活動実績
  - 令和7年度の取り組みについて

# 今後の主な取り組み

①超急性期<sup>※1</sup>から復旧期<sup>※2</sup>の  
対応について

②災害時の救急車による搬送  
について

※1・・・発災後48時間ないし72時間程度

※2・・・超急性期以後の時期

## ①超急性期から復旧期の対応について

# ▶災害医療対策本部に関すること

- \* 令和6年11月に策定した「船橋市の災害医療対策(ハンドブック)」に基づく災害医療対策本部運営訓練を実施した。訓練を通して、様式の作成・改善や、人員の確保、意思決定の訓練の必要性等の様々な課題が見つかった。



- \* 発災時に具体的に活動できるようにするために、訓練で確認できた反省点をハンドブックに反映し、継続的に訓練を行っていく必要があると考えている。

## ①超急性期から復旧期の対応について

# ▶病院前救護所に関すること

- \* 病院前救護所設置・運営訓練については、今年度より2巡目の訓練を実施しているが、令和6年度・7年度の2年間で、9カ所の災害医療協力病院のすべてで実施する予定である。
- \* 内容についても、電気や水の使えない状況や多数の傷病者が一斉に押し掛ける状況など、より実際の発災に近い想定のもと訓練を実施している。  
↓
- \* 引き続き訓練を継続し、傷病者をスムーズに受け入れられるようにするとともに、病院前救護所・病院内本部及び市災害医療対策本部との連携を意識した内容を訓練に取り入れる必要があると考えている。

## ①超急性期から復旧期の対応について

# ▶外部からの支援者受け入れに関すること

- \* 能登半島地震を踏まえて、市災害医療対策本部内にDMAT等の外部からの支援者を受け入れる班を組織することとし、令和6年11月に実施した訓練でも、千葉県との調整に取り組んだ。
- \* 訓練では、記載内容等の確認に時間を要し、千葉県へ支援要請を行うところまで進めなかった。  
↓
- \* 訓練での反省を活かし、様式の見直し等を含め、DMAT等の派遣元となる千葉県や、拠点となる市立医療センターと、平時より役割分担を含む調整を実施する必要があると考えている。



## ①超急性期から復旧期の対応について

# ▶復旧期における医薬品の提供及び避難所等での感染症対応に関すること

- \* 避難所での生活が長期化すると、普段飲んでいる医薬品の不足により体調が悪化し、災害関連死が発生する危険がある。
- \* 避難所で人口密度が高くなったり、換気不足等により感染症等の発生も懸念される。



- \* 医薬品等が必要な時に使えるようにするため、超急性期だけではなく、復旧期以降の時期にも安定的に供給できる対策を、市及び医療関係団体と検討する必要があると考えている。
- \* 避難所からの情報提供を受けた際の活動の流れについて、対応方針をまとめるとともに、訓練を実施する必要がある。

## ②災害時の救急車による搬送について

災害医療とは治療の対象者（需要）と人員・医薬品等の資源（供給）のバランスが取れなくなっている状況下での医療をいい、対象者全員に対する治療が困難な状況となる。

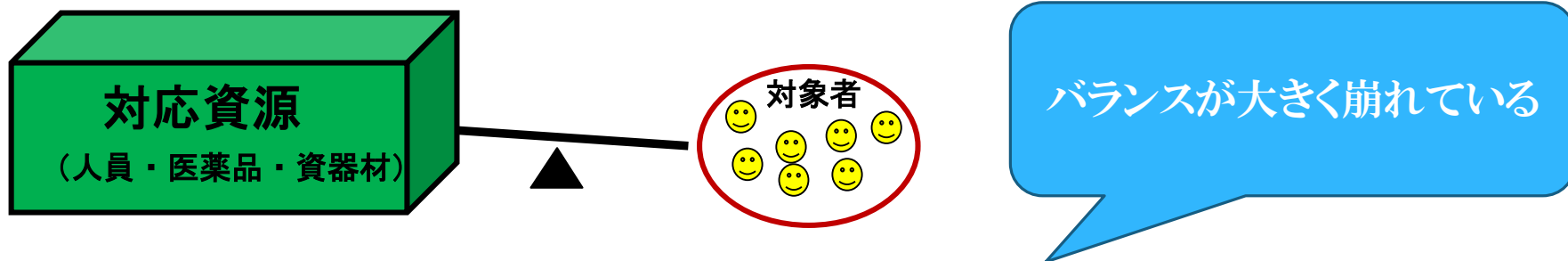
↓ その結果

治療や搬送の優先順位が求められるなど特殊な状況となる。

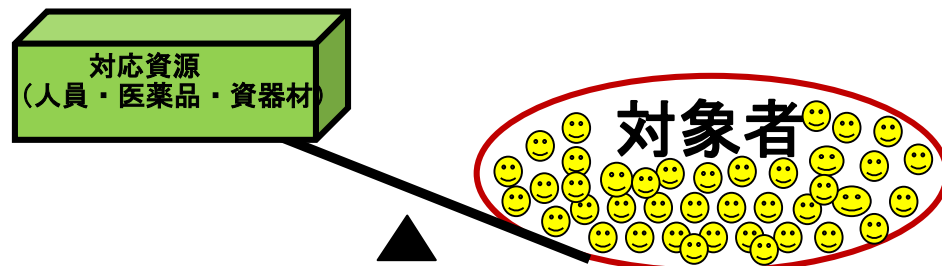
## ②災害時の救急車による搬送について

### イメージ図

#### <平時の救急対応>



#### <災害対応>

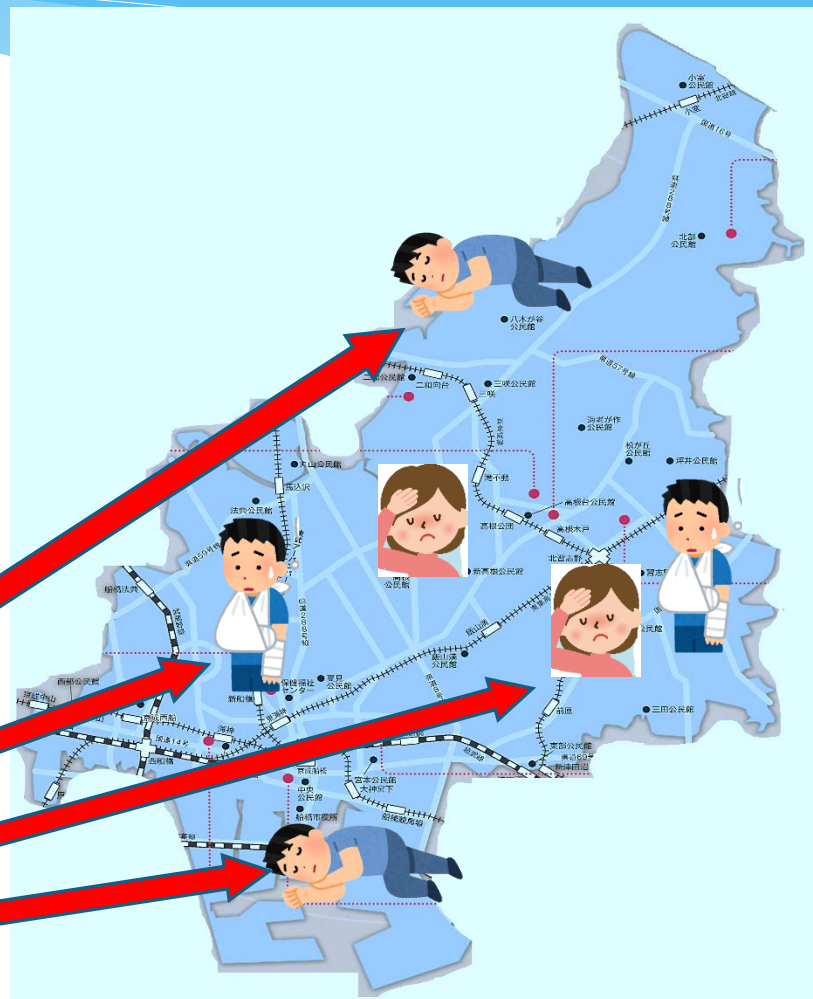
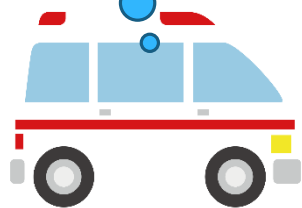


## ②災害時の救急車による搬送について

# 優先順位が必要な場面①

- \* 搬送したい人数に対し救急車が絶対的に足りない。

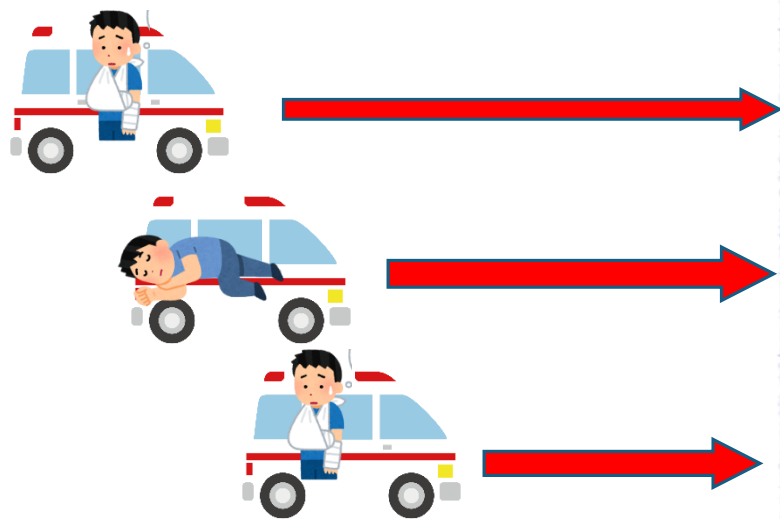
誰から搬送しよう...



## ②災害時の救急車による搬送について

# 優先順位が必要な場面②

\* 搬送したが病院の医師が  
少なく治療待ちが発生





# 今後の取り組みのまとめ①

## 課題

- \* 「船橋市の災害医療対策(ハンドブック)」を策定する等により、以前よりも実践的な訓練ができるようになったが、その分新たな課題も見えてきている。
- \* 実際の発災時には、搬送や治療の優先順位を考えながらの厳しい判断をする場面も想定される。

# 今後の取り組みのまとめ②

## 取り組み

- \* 発災時に備えた各種訓練を継続する。
- \* 新たな課題に対して引き続き対応を検討するとともに、市民にとって必要な情報の周知に取り組んでいきたい。
- \* 平時から関係機関等と連携しながら、できる限り事前に検討すべき課題を整理・共有し、発災時にスムーズに活動できるように取り組んでいきたい。
- \* 搬送について、医療センター、消防局と現状の確認をしている。今後、医療関係団体とも協議を行っていく予定。